

# 議会だより

第36号

2023年2月



町道稲村線倒木



自衛隊救援部隊



町道除雪作業



除雪後の国道33号線

※昨年末は、昭和38年のサンパチ豪雪以来となる記録的大雪となり、孤立集落・長期停電地区も発生し、町内が混乱する中、町も災害対策本部を立ち上げ、対応に追われました。

## 主な内容

議長年頭あいさつ	2
12月定例議会概要	3
令和3年度決算特別委員会審査報告	4
本会議・常任委員会 議案審議概要他	8
一般質問	21
お知らせ・編集後記	28

# 議長年頭あいさつ

## 町政に「ときめき」を



久万高原町議会議長

### 高橋 末廣

皆様、明けましておめでとうございます。

日頃は議会活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。本年も何とぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年末には予想もしなかった豪雪に見舞われ、長時間の通行止めや停電・断水、農業施設の被害、さらには集落の孤立等々、雪や低温による災害に見舞われました。

被害に遭われました皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、対応に大変なご努力をいただきました建

設業者を始め、ご有志の皆様  
のボランティアに心から感謝申し上げます。

この経験が無駄にしないよう、町当局には今から間断なく対応することを要請するとともに、議会としても防災対策にしっかり取り組んでいくことをお約束いたします。

一地区で起こったコロナウイルスが、まさか三年以上もたつて、未だに世界中の人々の人命を脅かし、経済活動が妨げられるとは思いませんでした。

突如として起こったロシアのウクライナ侵攻も、遠い

異国での出来事と言えない、陰に陽に我々の生活によくない影響を与えております。さらに世界中がきな臭くなってきたりすることも、憂うべきことであります。

戦争がいかに愚かなことだと歴史上幾度も経験して知りながら、それを繰り返してしまいう人間の進歩のなささえ感じてしまいます。

とは言え私たちは久万高原町の町民として、いかに生き、いかに活動して「持続可能な町づくり」に取り組むべきかと思えます。

まずは過疎・少子高齢化を起因として山積している

課題を掘り起こし、町と議会と町民がそれぞれの立場で、成すべきことをしっかりと成すことが大切であると存じます。

そのためには町民の代表である議会が、町民の抱える課題をしっかりと認識し、町民に寄り添い、町政に提言し、未来を見すえた活動をしていくことが肝要と思われ

ます。

私たち議会は、町民の皆様との意思の疎通を図るべく、門戸を広くし、敷居を低くすることを心がけています。ぜひ忌憚のないご意見・ご要望をお寄せください。

昨今の世情が原因か、わくわくするような「ときめき」が失われているような気がします。町にも、町政にも、議会活動にもときめきを取り戻し、共に活力ある町政を目指しましょう。

うさぎ年にふさわしく、本年が町にとっても、皆様方お一人お一人にとっても、良き年となり飛躍の年となりますようお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。

# 令和4年12月定例議会

12月6日～12月16日

12月6日から12月16日までの11日間の会期で開催された。

第1日目に一般質問を行い、6議員が脱炭素の取り組み、婚活支援の取り組み、二ホンジカによる森林被害の対策、久万高原清流米農家を守り育てる施策、今後の地域公共交通、再生可能エネルギーに係る環境問題の取り組み等を取り上げ、町政を質した。

第2日目に、条例の制定（一部改正）7件、補正予算（一般・特別・事業会計）11件の計18件が上程され、審議の結果5議案を可決、残り13議案を所管常任委員会へ付託した。また、決算特別委員長から審査結果報告があり、令和3年度決算を認定した。

第3日目に総務文教厚生常任委員会・産業建設常任委員会を開き、付託された議案を審議、採決した。

最終日に、各常任委員会付託議案と共に追加議案等として、工事変更請負契約に関する専決処分報告1件、補正予算（一般会計）1件、久万町・面河村・美川村・柳谷村新町建設計画の変更1件、工事変更請負契約の締結1件が上程され、審議可決した。学校給食の無償化を求める請願は不採択とした。

## 令和4年度 12月補正後予算

総額	168億6798万円 (5億5737万円増)
一般会計	106億5509万円 (5億1642万円増)
特別会計	39億2189万円 (1326万円増)
事業会計	22億9100万円 (2769万円増)

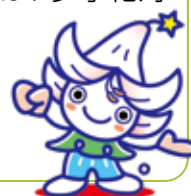
## 一般会計

主な歳入	
地方交付税	2226万円の増
国庫支出金	3850万円の増
繰越金	8787万円の増
町債	4億3910万円の増

主な歳出	
し尿処理施設解体工事設計委託料	1050万円の増
し尿等中継施設整備工事設計監理委託料および工事請負費	3億8300万円の増
原油高騰対策事業者経営支援事業補助金	1480万円の増
交付金の決定に伴う町道改良工事費（2路線）	7005万円の減
柳谷小学校体育館大屋根軒樋等改修工事監理委託料および工事請負費	1384万円の増
美川中学校体育館改修工事監理委託料および工事請負費	1億502万円の増
台風14号による災害復旧工事〈補助〉費（農地6・農業用施設2）	2900万円の増

### ●トピックス●

今回、可決制定された条例には、子ども医療費の無料化を15歳から18歳まで延長するものや、町立病院等で医療に従事する看護師、介護従事者等の特殊勤務手当額の引き上げに係るものも含まれます。これらは、少子化対策・子育て支援、医療従事者確保・支援などとして、町内の皆さんや、議会からの要望も多かった案件です。





# 決算特別委員会審査報告

令和3年度  
決算



## 1. 審査期間

令和4年10月4日・6日・11日・19日・11月4日（5日間）

## 2. 審査経過

当委員会は、町当局から選出された決算資料および監査委員の決算審査意見書等に基づいて、予算および事業の適切かつ効率的執行並びに主要施策の成果に主眼を置き、担当職員の説明を聴取し、慎重に審査した結果、原案のとおり認定することに決定した。

### 総務課

### 一般会計

・ 地方交付税に頼った財政運営だが、しっかりととした長期財政計画を樹立し、確実な実行を望む。

・ 歳入・歳出・決算の一連の効果について深く検証し、住民の理解を得るための努力を惜しむべきではない。  
・ 危機管理については、避難所の耐震対策や防災センターの有効活用などを前進させ、

・ 高齢者や障がい者に配慮した本町独自の安心安全対策を求めたい。  
・ DXや企業版ふるさと納税の推進

・ 支所の有効活用と地域運営協議会の支援の促進  
・ 住民の移動手段については、町全体の問題として、担当課を決めて責任を持って実施することを求めたい。



防災センター

### まちづくり営業課

・ 町の重点目標を定め、プロ人材の活用も視野に入れ、的を絞った将来につながる事業を、早急に町民と共に進めるべきだ。

・ まちなか交流館施設の有効利用で経済活動を育み、設置目的を共有し、利用と効果が可視化できることを求めたい。

・ 民間と行政が協力し、町への呼び水を作るべきだが、民間との協働が不足している。

町のPRについても強く求めたい。  
・ LPWAについては、利用者の増加とさ  
らなる有効利用をはかるべきだ。

・ 光回線の各戸への引き込みが遅れているとの声もあり、可能な限りの対応を。

### 環境整備課

・ 家庭ごみの出し方のトラブルが散見され、行政として適切に指導するべきだ。

・ 不法投棄については、監視カメラの設置対策や、警察とも協力しての対応を求める。



衛生センターストックヤード

## 消防本部消防署

- ・消防車や救急車、ドローンの導入などにあたっては、有効活用を前提に高機能なものへの更新を求めたい。
- ・支署の有効活用、社会環境の変化による定数の変更、自主防災組織の活用、消防団の維持、老朽化した施設整備



ドローンの動作確認



飛行訓練

- ・備などについては、本町所管課としっかりと連携して対応されたい。
- ・パワハラやセクハラの防止についてもしっかりと指導願いたい。
- ・定期的な救命講習会なども開催し、住民のための快適で規律ある組織づくりを求めたい。

## 保健福祉課

- ・夫婦の共働きが定着する中で少子化が進行しており、将来的な民間子ども園の支援検討を。
- ・障がい者施策や引きこもり対策、高齢者施設の見守りや災害対策、特に災害時の避難や介護については技術が必要であり、関係機関との連携の中で、福祉全般について、さらに一歩踏み込んだ取り組みを実現させることを求めたい。



ささゆり荘内

- ・福祉・保健対策については、常に現場に足を運び、住民の声を聴いて予防対策を充実させることを求める。
- ・老人ホームについては、居室の面積やバリアフリー化など課題はあるが、可能な限り高齢者にとって快適な環境を整えるように。

## ふるさと創生課

- ・地域おこし協力隊については、町に必要な人材を明確にしてミッションを提示し、採用においてミスマッチが起らないよう配慮するとともに、任期明けには定住できる環境を整えるべきだ。
- ・移住促進については、お試し住宅の充実や仕事の紹介とともに、下見の段階でしっかりと調整し、町として総合的に連携した取り組みを求めたい。
- ・美術館、天体観測館、山岳博物館の3館は、稼いで運営するということを基本にした施策の展開が必要であり、合わせて将来的な検討も行うべき時期に来ている。
- ・白銀荘や姫鶴荘、天体観測館下のグラウンド、千本高原などの観光施設についても、活用について検討し、今後の方針について明確にすることを求めたい。

## 教育委員会

- ・幼稚園、小・中学校は児童生徒の減少により、様々な検討が必要な時期が到来しており、久万幼稚園とこども園の関係についても将来的な観点に立って合理的な運営を模索すべきと考える。
- ・タブレット端末の

- ・教育現場での使用も浸透してきたが、効果の検証とさらなる活用を求めたい。
- ・教員住宅が活用されていない問題点を明確にしたうえで、整備、撤去、その他有効利用について検討するべきである。
- ・不登校やいじめ、上

- ・高の振興についても対策を求めたい。
- ・公民館の建て替え要望については、学校との併設などを合理的に検討する。
- ・事務事業をデータ化し、効率化を進める。
- ・施設修繕には迅速に対応する。
- ・社会教育について



美川教員住宅

- ・は、イベントの共催や移住者との交流など、新たな取り組みを求めたい。

## 農業委員会事務局

- ・耕作放棄地対策については、農業委員および農地利用最適化推進委員で協議し、あきらめることなく具体的な対応を求めたい。



農業戦略課

・農業振興については、総合戦略に具体策が明示されており、その内容に沿って少しでも施策をすすめること。新たな需要に対して迅速に対応し、農家が稼げる施策を実施するため、農業基金の創設など対応を検討すること。

・水田は農地保全に有



効であるが、米価の下落により維持が難しい状況であり、農業公社の役割である稲作受託団体の育成とともに、中山間の直払いだけに頼らず、独自の対応も求めたい。

住民課

・マイナンバーカードの取得率は上がってきたが、取得するメリットが実感できず個人情報に関する警戒感も強い。今後の社会環境の中ではカード利用が加速することが予想され、町としても普及促進を急ぐ必要があるが、まずは2万ポイントが付与される特典を享受できる取り組みに努め、合わせて町内消費が高まる仕組みを検討すること。

・地域医療に関する審議会が開催されたが、町民全般に関係する点とであり、詳しい情報の開示や財政と地域医療の問題についても検討を求めたい。

・税については、高いレベルで徴収率を伸ばしており評価するが、税と負担の公平性を確保するため、滞納処分についてもさらなる努力を求めたい。

建設課

・災害対策には排水施設の管理が重要であり、管理組合の育成支援と採択基準を満たさない被災対応など、災害の予防対策を求めたい。

・ガケ崩れ防止対策工事補助においても負担率は10%に軽減されたが、設計変更により大幅な増額が生じる場合は、地元と十分な協議を行うこと。

・残土処理場の工事は早期完成を目指すこと。

・橋梁の修繕については、しっかりとした計画の中で優先順位をつけて実施することを求めたい。

・住宅の滞納対策については、諸事情はあるにしても、しっかりとした対応を求めたい。

・災害対策には排水施設の管理が重要であり、管理組合の育成支援と採択基準を満たさない被災対応など、災害の予防対策を求めたい。



龍宮大橋

林業戦略課

・LPWAの有効活用、補助事業の周知徹底、商社の活用を視野に入れた将来計画の策定、森林の伐採トラブルを未然に防ぐ仕組みづくりなど、課題は多くあるが、森林環境譲与税を活用し、今後10

・年間林家の所得が増加する取り組みを早急に求めたい。

・上げ相場の時には休日を問わず市場を開けるなど、関係団体とも協議して、林業振興に取り組み姿勢を求めたい。

特別会計

国民健康保険事業特別会計

・医療・福祉・保険制度の充実により、健康保険担当課は、縦割りの中での対応が難しくなっており、各課を横断する組織の検討が望まれる。

国民健康保険診療所事業特別会計

・人口減少により受診者数も先細りとなっており、将来に向かって、診療所の経営方針も慎重かつ適切に検討を始める時期ではないかと考える。

後期高齢者医療保険事業特別会計

・愛媛県後期高齢者医療広域連合の予算管理に基づいた歳入歳出処理を行っている。





### 介護保険事業特別会計

・保険料の徴収率の向上について、保健福祉課としての取り組みを求めたい。

### 訪問看護事業特別会計

・訪問看護事業については、町民に寄り添った活動を期待したい。

### 農業集落排水事業特別会計 公共下水道事業特別会計 浄化槽事業特別会計

・下水道三事業については、起債償還も進んでいるが、今後は経年劣化による修繕費の増大も見込まれる。歳入も大きく不足しており、廃止も含めた検討と代替え設備として、合併浄化槽の推進も視野に入れた将来計画の策定を求めたい。

### 凶荒予備事業特別会計

・奨学金事業については、定住促進の観点から、一定の条件のもと、免除の仕組みも検討されたい。

### 分譲宅地造成事業特別会計

・完売の見通しであり、早期に住宅が建築され、町税などへの効果が発揮されることを望む。

## 事業会計

### 久万高原町立病院事業会計

・看護師の不足により病床の制限をせざるを得ない状況であり、これにより人件費率が100%近くまで上昇していることは緊急事態と言える。看護師の不足については、あらゆる対策を講じて、一

日でも早い健全経営を求めたい。

・看護師が不足する真の理由を分析し対応することが重要であり、職場環境やメンタル面については、本町の人事担当課とも協力して対応されたい。

### 久万高原町立老人保健施設事業会計

・あけぼのは現行の50床では、将来的にも黒字化できる見込みがないことに加えて、看護師の不足により、50床での運営も危ぶまれる状況である。介護ロボットや、パワースーツなどの先端機器により、職員の負担軽減を積極的に図るとともに、人材確保に努め、病床の制限を回避することを求めたい。

### 簡易水道事業会計

・水道については、しっかりとした経営を求めたい。

・高齢化により地元施設の維持管理が困難になつており、膜ろ過施設の推進など、地域住民の負担の少ない、効率的な施設の改修を計画的に行うこと。

・収納対策に努めること。

## 全体を通して

各課それぞれ行政課題を抱えており、町長の指導の下、町職員は懸命に努力している姿も感じられた。本年度の決算審査において特に気づいた三点について提案し総評としたい。

①人材不足が現実と感じられるようになった町立病院や老人保健施設の医療介護職だけでなく、全ての職種において公募しても応募がない状況が顕著になっている。すでに支障をきたしている業務もあるが、一刻も早く職場環境の改善と賃金の検討などに取り組み、町の事業に支障が生じることのないように対応を求めたい。

②各課を横断して調整する組織の必要性  
保健・医療・福祉の関係、危機管理と消防など、従前の縦割りでは迅速な対応が難しくなっており、複雑化する行政需要に因應するために、各課を横断して総合的に調整する組織の設置について検討を求めたい。

③経営の視点を持った計画的な施策の実施  
町は、多額の財源を伴う様々な施策を実施しているが、収支やコストを意識して計画し、利益や住民満足度など、費用対効果については、しっかりとした検証を求めたい。

なお、議会は今後とも、その動向を注視したい。

本会議 第二日 質疑

議案第80号

町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定

■定年延長後の職員定数

**岡部** 65歳定年の実施後、町の職員定数に変化はあるのか。

**答** 総務課長

職員定数については、今議会の別議案にて定数改正することとしている。

**岡部** 今後の適正な職員定数の方向性、定年延長で職責の位置が変

わり、日々の職務に影響が出ないかを伺う。

**答** 総務課長

職員定数は、人口規模・社会情勢に沿って計画的に見直す必要がある。また、定年延長による職務の影響については、経験を生かして役割を果たせるよう、業務内容を検討していく。

議案第81号

地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

**岡部** 正職員・会計年度任用職員の場合に契約による個人事業主の方が存在しているが、全体で何人いるのか。

**答** 総務課長

委託業務による個人事業主の方は、清掃・運転・施設管理・保育等の業務に従事されており、年間通じて延べ人数で98名である。

**岡部** 個人事業主は一般的に労災保険に入れない。2022年10月か

ら被用者保険が適用拡大され、個人事業主は業種によって、申請すれば特別加入で労災対応が可能となった。町は申請の受け皿を作っているのか。

**答** 総務課長

特別加入できる制度については現在適用していない。全国町村会の「自治体委託業務等災害補償保険」に加入し、個人事業主の方が業務中に事故等に遭われた場合、対応する。

議案第83号

町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定

■介護職員・看護師等の確保

**瀧野** 町立病院は、介護職員、看護師が不足しているため、77病床のうち35床程度しか利用されていないと聞く。自治体病院として、町民の皆さんが入院したくても入院できない

い事はないか。勤務手当の議案だが、改正された勤務手当で看護師の不足は補うことができるのか。他の病院と比べて、手当は十分なのかお聞きする。

**答** 病院事業等統括事務局長

他の病院施設と比べて、事務長・看護師などで連絡協議会を開催し、情報の共有に取り組んでいるが、周辺の自治体病院との差はないと認識している。

**瀧野** 他の会議の中で、時給も随分安いのではないか、給料、手当についても十分だと認識して構わないか。

**答** 病院事業等統括事務局長

民間の病院と比較したわけではない。自治体病院間の情報の共有である。予算について精査はしていないが、今の給与制度、手当の制度で採用活動をすることが求められていると思う。



議案第84号

町子ども医療費助成条例の一部を改正する  
条例の制定

■18歳までの医療費無料化

**岡部** この助成に関しては、議会も以前から実施要望をしていたが実現しなかった。今回実施に至った理由は。

**答 保健福祉課長**

コロナの長期化、物価高騰等もあり、この機会に条例改正することとした。

**岡部** 条例案に反対していないが、新型コロナウイルス感染症による影響の長期化等で今回18歳までの医療費を無料化したとの説明は理解しがたい。もっと明確な理由があるはずでは。

**答 佐藤副町長**

実施した場合の恒久的な財源確保や県内自治体の状況を踏まえ検討すると答弁してきた。その中で、今回提案により、人口減少対策、安心できる子育て環境に寄与できることで取り組んだ。

**岡部** 担当課長の説明が「18歳まで医療費無料化」の理由であれば、そのほか未だ実現できていない必要な案件も早急に実現に向けた対応をするべきではないか。

**答 佐藤副町長**

どのような状況にあっても、町としての取り組み姿勢が基本だと考えている。

**瀧野** 以前に15歳までの子供医療費を無料にする条例が施行された。施行時の子供医療費は1200万円であったが、すぐに2400万円になった。延長されることにより、医療費はいくらの予算を予定されているのかお聞きする。

**答 保健福祉課長**

該当人数は140名になる。新年度予算は300万円増で組んでいる。

議案第85号

一般会計補正予算（第6号）

◆林業戦略課◆

■林業担い手

■9月定例議会中の質疑に対する答  
弁訂正

**答 林業戦略課長**

9月議会2日目における瀧野議員の「今まで山の問題については森林組合が調査をしていたと思うが、今はどこがしているのか。」との質疑に、「境界の錯誤については、基本的に森林組合が補助申請の窓口になっている。」と答弁したが、境界の錯誤に関する事務は森林組合では行っておらず、その部分を訂正させていたきたい。

この度は久万広域森林組合に対し、多大なご迷惑をおかけいたしました。

**大原** 林業に係る地域おこし協力隊の指導体制にどのような変更がなされたか。

**答 林業戦略課長**

今年度2名採用した。当初は2名1組が1人の指導者について研修予定だったが、マンツーマンに変更した。

**大原** 地域おこし協力隊を活用して林業担い手を増やすことについて、初年度としてどのような評価をしているか。

**答 林業戦略課長**

2名とも熱心に取り組んでおり、現在ではある程度の技術を習得している。

**大原** 今後も毎年5名の採用計画があるが、マンツーマンの指導体制としたことで指導者の確保はできるのか。

**答 林業戦略課長**



管理は林業商社に、指導者はひとり親方の方にお願ひしている。事業者の業務形態で指導方法が変わるので、今後も指導者を増やすことで検討中。

**大原** 林業商社の事業計画に人材育成と出ているが、この事業による商社の収入は。

**答** 林業戦略課長

年間何日、何名で積算し委託している。管理委託料は159万5000円。

◆建設課◆

■公共土木工事費の減額

**森** 町道2路線の工事費がかなり減額されているが、これは当初予定していたものが、国からの補助金が今年度は要望通りつかなかつたための減額か。

**答** 建設課長

本事業については、県を經由して町から国へ令和4年度の予算要求をしていたが、要求通りの交付金決定・配分とならなかつた結果である。他

の事業にも、同様のケースもある。

**森** 減額で実施できなかった工事等は、次年度になると思うが、今、物価・建設資材の高騰、燃料費の高騰があり、同じ工事をやるにしても工事費の増額が危惧される。各工事とも安全面等で緊急に必要なため改修要望もきているので、工事の必要性を強調し、計画通りに実施できるように国等への要望強化をすべきでは。

**答** 建設課長

工事の早期完成を目指して、予算要求通りの交付決定を頂けるよう県に対して、事業の重要性、緊急性をしっかりと説明していきたい。

◆保健福祉課◆

■ささゆり荘の光熱費増加

**岡部** ささゆり荘の光熱水費200万円増額補正の理由を。

**答** 佐藤副町長

増額理由は、①夏の電気使用量の増、②冬場の入所者の体調管理、③当初予算の基礎となる費用額見込みが甘かつた等による。

■コロナ関連人件費の減額

**岡部** 県内・町内ともコロナ感染者数が増えている中で、関連人件費減額の理由は。

**答** 保健福祉課長

コロナ禍の中で業務がスムーズに実行できている状況を踏まえて残業代等費用を減額。

**岡部** 現在、第8波の到来で対応を充実すべき状況にある中、関係費用の減額は理解しがたい。

**答** 佐藤副町長

年度当初の国費申請の際、昨年度より多めに予算計上していたが、4月以降の業務体制によるワクチン接種状況の現状を踏まえ、国費の手続きが上減額した。

**岡部** 3月補正でも対応可能と考えるが、今後の対応において予算上支障は生じないのか。

**答** 佐藤副町長

3月議会での対応も1つの選択肢であるが、今後の見込みも見越して予算減額した。

◆環境整備課◆

■太陽光発電所の建設

**瀧野** 昨日一般質問があった、太陽光発電について質疑する。町内で多くの土地に太陽光発電が設置されていると聞く。太陽光発電は、設置の段階から産業廃棄物として処分できないと聞く。景観や環境の問題など将来町の負担として残ると思う。どれくらいの面積が設置されているのか答弁をいただきたい。

**答** 環境整備課長

町としては、ガイドラインを設置しており、それに基づいて確認をしている。産廃認定については、今のところされてないと解釈している。ガイドラインに基づく届出の件数は現在7件、面積は8万4270㎡である。



入野地区の太陽光発電施設

■簡易水道事業会計繰出金

**瀧野** 水道事業は公営会計法に基づく公営企業会計である。赤字部分に対して、現在は交付税措置をされていると思うが、下水道会計まで公営企業会計になっているというところは、交付税措置も難しい状態が考えられる。対策についてお聞きする。

**答** 環境整備課長

今現在は、一般会計の繰出金に頼るところが大きい。今後は、多くの修繕などが出てくる可能性がある。長寿命化や管理計画を立てるなど、経営状況の改善をしてまいりたい。

◆教育委員会◆

■公民館等の施設修繕

**岡部** 施設修繕工事の基準は。

**答** 教育委員会事務局長

施設修繕に係る優先順位の最上位は、建築後40年以上経過した中で劣化状況により対応している。大規模改修施設については、改修した後30年以上使用を続けることを基準とし

て設けている。

**岡部** 利用頻度の高い施設の玄関付近の修繕が必要ではと委員会に伝えたが、未だ対応されていない状況も伺える。現状、教育委員会の対応はこれでいいのか。

**答** 教育委員会事務局長

指定管理者による修繕については、各分館から要望があった場合は現場を確認した後、公民館と協議して対応している。

■柳谷小学校体育館修繕

**玉井** 柳谷小学校の体育館については、建築当初から問題があり、再三直している。今回どのような方法で直すのか。また、今までのような管理をしてきたのか。

**答** 教育委員会事務局長

今回は、主に体育館アリーナの大屋根軒の修繕工事と、玄関、トイレ周りの下屋の改修、電気設備工事となっている。既存の内どいを撤去、外どいに形状変更し、塩ビ雨どいの新設を行う。

これにより、雨等の浸食が改善される。施設の維持管理については、高

所作業車を要するため、学校施設合わせて3件くらいを定期的に管理している。

**瀧野** この体育館の改修工事は3回目だ。合併当時、多くの問題があった施設である。私は役職から立ち会った。教育長も同席していたと思う。2回目の時も、教育長から直接相談を受けた。今回で3回目、なぜ同じ設計事務所が請け合うのか。

**答** 小野教育長

当時、お話の通り議会にもお世話になった。ご指摘のように、建築をした業者が修繕をし、対応をしてくれたが、当初から、内どいは設計ミスではないのか、素人目に見ても意見を述べたが、業者は認めなかった。繰り返し修繕が必要なことから、今回外どいにつけ直すということである。

**瀧野** 8億数千万円かけた新築時の設計施工、教育長が就任してから設計修繕、今回の設計修繕と同じ設計事務所であったかと思うが、どうなのか。

**答** 小野教育長

今回も同じであり、責任をもって対応するということを、確認している。

■町外通学生コロナ対応

**岡部** 以前、コロナ対応として町出身の学生に対する支援を検討すると教育長が答弁されているが、その後の対応を伺う。

**答** 小野教育長

様々研究してきたが、義務教育を外れた部分での制限等もあり、取り組みができていない。

**岡部** この町から優秀な人材を輩出していくという部分においてもしっかり検討すべきでは。

**答** 小野教育長

今後、可能な対応についてさらに研究していきたい。





総務文教厚生常任委員会

議案第85号

一般会計補正予算(第6号)

総務課

コロナ感染症対策

**瀧野** 最近町内で、コロナ感染症が多発し、クラスターも発生しているという。町民にとって情報がないというのは不安だと思う。町民の間で情報が共有できていないと思うが、感染症の町内の現状と感染予防については情報を伝えるべきだ。総務課としての考えは。

答 総務課長

施設の従業員や職員は充分認識があると思うが、感染予防の徹底や、町民の皆様への全体的な周知は、これまで以上に必要だと思う。

**瀧野** コロナ感染症も半年から1年後にはインフルエンザと同じぐらいになるのではと言われている。若い人たちの死亡率が低く、70歳以上の高齢者の死亡率は80%と言われている。各地で若い人の感染が大半だ。

高齢者にうつさないメリハリのある対策が必要と思うが、その対策は。

答 総務課長

密になる所のマスクの利用や、会議での換気、手洗いなどを繰り返し徹底することが大切だと思う。ワクチン接種の推進とともに、家庭、職場、学校などでの感染予防に努めるよう伝えていきたい。

**熊代** 高齢者・障がい者の抗原検査を、タクシーの中で検査したと聞いたが、事業者のリスク等、対策は考えてないか。

答 総務課長

担当課長から相談があり、検討している。急ぐ話でもあり、至急検討し、どの方法が一番良いのか事業者とも相談させていただきたい。

**熊代** コロナ疑いがある、交通弱者の対策を考えていただきたい。

答 総務課長

運転者は、精神的に大変だと思うので十分に検討したい。

SS過疎地支援事業

**高橋誠** 対象世帯への周知と補助金交付の流れについてはどうか。

答 総務課長

貯蔵用タンクの購入支援の周知は、12月自治会文書でお知らせし、その後も順次周知を行う。補助については、交付申請、購入、請求の流れになるが、高齢者も多いのでできるだけ簡易な手続きにしたい。

**高橋誠** 高齢者の申請には、対象世帯のある支所職員の支援も必要ではないか。

答 総務課長

支所職員についても、十分に制度を説明して、手続きは支所で完結できるようにしたい。

住民課

マイナンバーカード利活用

**瀧野** マイナンバーについては、町民の皆さんがよく理解をされていないと思うが、今後の説明と、用途の拡充についてもお聞きする。

答 住民課長

非常に分かりにくいという意見をいただいている。広報チラシなどで説明をしたいと思う。用途の拡充については、その都度周知に努めてまいりたい。

**森** マイナンバーカードとスマホを用いて、戸籍の附表や婚姻証明書などを郵便請求できるような便利な制度の検討は。

答 住民課長

住民票や戸籍関係書類の取得がコンビニでもできるように、現在検討している。

保健福祉課

エアコンの更新

**瀧野** 保健福祉課関係だけでも多くのエアコンが設置されていると思う。設置後20年以上経過した「ささゆり荘」のエアコン改修について、

電気代が高騰する中、老朽化したエアコンは早急に回収を進め、電気代の節約に取り組むべきだと思うが答弁を求めらる。

**答** 保健福祉課長

20年以上経過すると、支障が発生し、電気代も上がると思う。新型の機器を入れることで節電も可能になる。今後は機器の更新について検討していきたい。

消防署

■ハラスメント防止対策

**瀧野** 最近、県内の消防署内で職員間の人間関係による問題が起きたと聞いた。消防署の現在の職場環境についてお聞きする。

**答** 消防本部消防長

先般の消防でのハラスメントの関係は、県内の同じ消防署員として、非常に遺憾に思っている。先日、県内の全消防庁が招集され、緊急会議が開催された。ハラスメントに対して、撲滅という形で取り組む意思表示がされた。本町においてもハラスメントへの指導、管理職についても当事

者にならないよう指導をしている。今後とも、良好な職場環境の維持に努めてまいりたい。

教育委員会

■空き教室の有効利用

**瀧野** 学校管理でお聞きする。子供さんが減ってきた。町内の学校における空き教室の数をお聞きする。

**答** 教育委員会事務局長

9校すべてにおいて空き教室がある。利用については、多目的教室としている。

**瀧野** 以前は、新しい学校の建築につき、高齢者施設、公民館、図書館などの併設が検討されてきた。現在では、地域の学校の空き教室が増えたり、廃校になったりしている。人口減社会の中で、地域と共

に歩んできた学校施設の利用についても検討する時代だと思う。施設の利用には問題もあるが、今後の取り組みについてお聞きする。

**答** 教育委員会事務局長

教育施設ということ、用途の方法

は限られているが、用途の変更や、空き教室の利用についても計画的に取り組んでまいりたい。

■学校施設改修工事

**森** 美川中体育館の改修工事管理委託料および工事請負費は1億円を超えての大規模な改修だが、その概要は。

**答** 教育委員会事務局長

屋根・外壁等の外部改修、玄関・ステージ・競技場内部のバスケットゴールの撤去や新設等の内部改修、その他、建具・渡り廊下・電気設備・給水設備等の改修となっている。

**高橋誠** 美川中と柳谷小の体育館改修工事、使用できない期間の授業等への対応はどのようになるのか。

**答** 教育委員会事務局長

柳谷小学校の体育館については、軒樋の改修であり特段の影響は生じない。美川中学校体育館は、総体が終わる6月以降に床面の内部改修に入るようにしており、部活動等への影響が少ない工期としている。

**高橋誠** 体育館を社会教育で使う場合の団体との調整はどうか。

**答** 教育委員会事務局長

支所とも連携しながら、住民の方々に不便のないように事業を進めていきたい。

**熊代** 学校が休校の時は、遠隔授業等対応はされているか。

**答** 教育委員会事務局長

タブレット端末を使用して、遠隔授業を行っている。

■地域文化財保護

**瀧野** 以前に、町内のミニ四国についてお聞きした。この件は、地域に住む高齢者が守って来られたわけだが、清掃などについては自分たちでできるが、修復が必要となったミニ四国の修繕費についてお聞きをします。その後検討されているのなら答弁を求めらる。

**答** 教育委員会生涯学習班長

以前質疑のあった、久万四国88ヶ所、野尻の58番であるが、すぐに調査をした。業者にも投げかけ、何度か工夫について打ち合わせをしている。

予算のヒアリングも終わり、新年度予算で早速対応をしたい。今後も取り組みには相談をいただき、協議していきたい。

**代熊** 台風14号で、菅生から畑野川への遍路道が崩れているが、通行禁止にしたらどうか。

**答** 教育委員会生涯学習班長

大宝寺岩屋寺道は国史跡になり、私も何度も歩いて県教委と一緒に調査をしたが、自然災害であり慎重に工法を検討しながら、看板、チラシ等応急措置をし、現在も、県教委と相談し災害対応に努力している。



遍路道災害

### 議案第89号

介護保険事業特別会計補正予算（第3号）

#### ■介護保険制度の大幅改正

**野瀧** 国の財政上の問題だが、介護保険第9期は大幅に改正されるのではと考える。要介護1と2について、地域支援事業給付から外すのではないか。現時点での情報をお聞きする。

**答** 保健福祉課長寿介護班長

現状では、次回の介護保険改正で要介護1と2の、地域支援事業への移行については、見送られる形になっている。今後の国の審議会の動きを確かめたい。

**野瀧** 介護保険制度では、3年ごとに介護保険計画が改正され、基準世帯の保険料や事業の改正が実施されている。7期から8期の時には、

高齢者が減っているのに、670円も上がった。9期における保険料について、予定があればお聞かせいただきたい。

**答** 保健福祉課長寿介護班長

第9期の保険料については、来年度に介護保険事業会計の見直し、9期の策定期間になっている。現在では何とも言えないが、給付費については、ほぼ横ばいであり、65歳以上の高齢者は減っている。基金の積み立てなど総合的に勘案し、保険料が上らない方向で調整していきたい。

### 議案第94号

町立病院事業会計補正予算（第1号）

#### ■経営改善への対応

**大原** 経営改善が喫緊の課題だが、どのように考えているか。

**答** 病院事業統括事務長

人件費の高止まりが続いており、コロナ禍で非常に苦しい経営状況だ。職員不足による病棟運営も厳しい。今後は病棟再編なども検討して考え

ていきたい。病院運営としては訪問診療の拡大を検討している。

**大原** 町民は町立病院に対して、診てほしい。診てほしい時に診てもらい、入院ができる病院を期待している。経営改善のためにはそのような患者をしっかりと受け入れ、正規の診療報酬を経営に回していくことが必要。抜本的な病棟再編などを早く病院運営

委員会に諮る必要があると思うが、具体的なスケジュール案は。

**答** 病院事業統括事務長

介護病棟廃止に伴い、内部で検討中だ。スケジュール的には余裕はないと考えており、ぜひ今後進めていきたい。

**大原** 限られた人的資源の中で、今の看護体制を維持して経営改善をしていくことは厳しいことだとは思いますが、しっかりと検討して運営委員会に提示していただきたい。



**瀧野** 町立病院の経営状態についてお聞きする。看護師不足などにより、経営状態が非常に悪いと聞か、病院会計は企業会計で複式簿記であるから、経営についてはしっかりと確認が取れると思う。今後の持続可能な病院経営についてお聞きする。

**答** 河野町長

自治体病院で、町民から絶大な信頼

を受けており、今後もその責務を果たしていかなければならない。経営については、確かに小規模病院ゆえに不採算病院だからということ、国から補助金をもらっている。満足できる町立病院の運営状況でないことは承知している。病院を今後しっかりと維持していくことについて局長とも協議をしながら、運営委員会を早期に開催し、対応をしてみたい。

## 産業建設常任委員会

### 議案第79号

久万高原町下水道事業の設置等に関する条例の制定について

■下水道3事業が特別会計から地方公営企業会計へ

**岡部** 公営企業会計に移行することによって、経営の収支や事業推進で変わる部分はない。

**答** 環境整備課長

財務規程のみの適用であり、事業推進における変更はない。

**岡部** 条例第3条で下水道事業は常に企業の経済性を発揮するとしているが。

**答** 環境整備課長

企業会計により経営状況の的確な把握や経営の健全化が見込め、会計情報と財産状況の連携が図られ、より適正な財産管理が可能になることから、町民の方に運営状況を解りやすく説明ができる。

### 議案第85号

一般会計補正予算（第6号）

◆まちづくり営業課◆

■原油高騰対策

**阪本** 原油高騰対策事業者支援事業の、現在までの申請状況と今後の見込み数、農業者の割合は。

**答** まちづくり営業課長

2022年1月から3月期で76件、1300万円ほどの実績があり、そのうち農業者は2件となっている。今後の見込みは1期1000万円、総額4000万円の見通し。

**阪本** 農業者が2件というのは、限られた農家しか補助要件を満たしていないと思うが、それ以外の農家に対しても、恩恵があるように踏み込んで考える気はないか。

**答** まちづくり営業課長

農業者2件の実績は、農閑期ということも想定される。今後4～6月、秋口にかけては若干増えてくるという期待もあり動向を見たい。

◆農業戦略課◆

■肥料等高騰対策

**阪本** 肥料高騰対策の支援事業について、水稲と夏秋産地の本町にとつて、春肥は秋肥とは比べ物にならない金額が動くが、上昇率未定のまま算出しており、この予算で充分か。

**答** 農業戦略課長

春肥については、上昇率の数字が示されており、前年度の購入数量・購入金額を確認した上で、予測により計上している。

**西山** 高齢化で労力が大変であり、農業公園で自走式肥料散布機の貸し出しも検討しはどうか。

**答** 農業戦略課長

機械の購入は、費用と管理の徹底の



肥料散布機

部分もあり、検討しできるところから対応していきたい。

**大野** 畜産農家から飼料価格が高騰し、このままではやっていけないという悲痛な声が届いている。飼料の補助は十分か。

**答** 農業戦略課長

1トンあたり3700円で計算した。もし不足であれば今後検討したい。



町内畜産農家

■どんぐりトマト

**岡部** 肥料等高騰の中、「どんぐりトマト農家」の収入や概況は。

**答** 農業戦略課長

生産者数は農業公園を含め5戸、総収入額は233万1000円、作付面積は3124㎡である。

**岡部** 生産農家は農業公社を窓口として決められた出荷予定日に合わ

せて出荷されているが、生産者と協議しながら出荷調整しているのか。

**答** 農業戦略課長

生産農家・農業公社が協議しながら収穫・選別・箱詰めによる個選共販での出荷とし、農業公社でチェックの後、週3回程度JA選果場に出荷している。

■牛の購入後の扱いは

**岡部** 動物購入費で購入した牛は、購入した後どのような対応になるのか。

**答** 農業戦略課長

畜産事業における牛購入時に、農家と和牛繁殖メス牛貸付契約を行い、5年後に牛購入元金を返済いただいた後、農家所有となる。

■イノシシ被害

**西山** イノシシの被害が出ており宅地まで侵入する事例がある。対応方法はあるのか。

**答** 農業戦略課長

農地への対策はしているが宅地等への対応は、各課連携を計り対応でき

る部分については対応したい。

◆林業戦略課◆

■担い手育成事業

**光田** 地域おこし協力隊の担い手育成事業の現状は。

**答** 林業戦略課長

現在2名で研修を行っているが、指導研修、管理業務においては、活性化センターに委託している。熱心な取り組みで、技術もある程度向上している。また、愛媛大学のレンタルの講座にも参加していただき、森林林業に関する幅広い知識と技術の習得にも努めている。その他、下刈り等の実践も行っており、日ごとに成長していると感じている。

**光田** 指導業務を個人事業主に委託しているが、今後も継続して指導をしていただけるのか。

**答** 林業戦略課長

現在3名の指導者の方に仕事の傍ら指導をしていただいている。その他の何名かの方にも趣旨を説明し賛同されているので、継続は可能だと考

える。

**光田** 育成の実践先として、町有林も視野に入れていくとのことだが、どのように活用されるのか。

**答** 林業戦略課長

町有林での搬出間伐を行い、工期やコスト、経営的収支を自身で分析するという事を計画している。基本的には3年目と考えているが、指導員と相談しながら対応したいと思う。

■林業商社の事業運営

**光田** 今後の林業商社の事業運営について説明をお願いする。

**答** 林業戦略課長

本年4月から9月までの上半期の経営は、営業収入の合計が593万6000円で、営業支出を差し引くと31万1500円のマイナスになるが、年度内見込み額では、122万円程度の黒字を見込んでいる。今後としては、町内の製材業者との連携により、規格化されたJAS製品を主力に川下のプレカット事業者や工務店との新たな木材供給体制の構築の中で、商社として、利益を追究していきたいと思う。

■下刈りの担い手不足

**岡部** 年々植林率の低下が問題になっている中、下刈り担い手も不足している。現状の作業費用に見合った補助金対応がなされれば植林が進むと考えるが、新年度において増額の検討を。

**答** 林業戦略課長

下刈りについては、国の下刈り事業では国の補助率68%、町の上乗せ20%補助対応とし、美しい森づくり基盤整備事業では国の補助率50%、町の上乗せ20%補助対応としているが、植林率向上を図るためには補助金増額が必要であり、美しい森づくり基盤整備事業において見直しを検討したい。

■未利用材搬出実証事業

**岡部** 未利用材活用促進における「未利用材搬出実証事業」の調査結果報告を。

**答** 林業戦略課長

2022年11月9日、10日において東明神団地で実施したが、準備が整い次第、議会に報告する。

■全伐後の植林点検

**大野** 先の台風で、全伐後、植林されていなかった山林の林道で土砂崩れが起きていた。全伐後、植林されているかどうか点検しているか。

**答** 林業戦略課長

伐採届の段階で造林計画を出してもらっている。植林するか、天然更新するかという2つの選択肢があり、植林する場合は2年以内に行い、職員が確認する。天然更新の場合は3年から5年の期間をおき、広葉樹が生えていなかったら植林の命令を出す。



全伐後山林

■久万材セールスポイント

**大野** 久万材のセールスポイントは何か。

**答** 林業戦略課長

色合いが良い、加工しやすい、という点だ。だが、製品の性能が数字的に表示されないのがブランド化の課題と考えている。

■久万林業まつり

**西山** 今年、3年ぶりの林業まつりを開催したが、障がい者、高齢者に配慮した車いす等は準備していたか。

**答** 林業戦略課長

2台の車椅子を準備していたが、周知や表示、身体障害者の方の駐車場等、行き届かなかったことは反省する。



林業まつり

**西山** その他のイベント等についても対応できているか。

**答** 佐藤副町長

テントに保健師を常駐させることもあり、イベントによって対象者も異なることもあり、役場全体で気をつける。

議案第90号

農業集落排水事業  
特別会計補正予算（第1号）

■マンホール蓋

**大野** マンホールの蓋の上を車が通るが、耐用年数をお聞きしたい。

**答** 環境整備課長

車道部は15年、その他鉄蓋は30年と考えている。

**大野** 設置しているところの点検、更新の計画を立てておく必要があるのではないか。

**答** 環境整備課長

更新は行っている。更新計画は今後の課題としたい。



本会議最終日質疑

議案第96号

一般会計補正予算(第7号)

国調山林境界錯誤に伴う補償

**岡部** 今回の補正予算内容、特に金額等に係る地元関係者との確認は。

**答** 住民課長

地元には、積算根拠等の資料を提示して説明し、了解を得ているが、正式な文書等は弁護士との相談を踏まえて地元関係者等に確認いただいた後、正式な契約締結となることとして急いで進めていきたい。

**岡部** 年内の補償に向けた町の対応に地元関係者も理解されていると考える。町長ご自身も最終の地元関係者との会に臨まれると思うが、現在までの町の取り組み等についての町長の考えは。

**答** 河野町長

今回、伐採によって被害を被っている地元山林所有者への対応は急ぐべきと思っており、法的根拠を踏まえ早い対応を進めていく。

議案第98号

工事変更請負契約の締結

面河アウトドアセンター

**岡部** 入札が辞退等による不落になった場合や、同様のことが続いた場合における町の対応マニュアルは機能していたのか。

**答** 総務課長

入札不調があった場合には、設計図書の見直し・指名業者の変更による再入札を実施することとしており、今回工事入札についても機能していたと考えている。

**岡部** 資材価格高騰に係る工事請負契約書第26条に対する町の認識お

よびその取扱いについて伺う。

**答** 総務課長

第26条は、全体インフレスライド或いは単品スライド条項それぞれ規定しており、特定の主要な材料価格が著しく変動した場合の、受注者からの申し出による精算的な変更であるが、ここ数年運用実績はない。

**岡部** 現在、町に工事等に関する専門家がいないことから、設計業者

に頼らざるを得ない状況にある。1日も早く、設計やコンサルタントをチェックできる仕組みを確立すべきでは。

**答** 佐藤副町長

町としても重要な課題と認識しており、まず早急にチェックの標準化等による対応を検討していきたい。

請願第1号

学校給食の無償化を求める請願について

賛成討論

**大野** 7人に1人の子供が貧困状態にあると言われており、給食費を無償にという声は今までになく大きくなっている。無償にできない理由として、学校給食法の「食材費は保護者負担」が根拠にされているが、国会質問において、各自治体が全額補助することを否定しないとの答弁がある。学校給食は義務教育の一環で、憲法26条では、義務教育はこれを無償とするとされている。自治体

も無償に向けて頑張っている。私は国の責任で学校給食を無償化することに賛成をする。

反対討論

**瀧野** 学校給食の無償化を実現するために、本町議会から国に意見書を提出して欲しいとの請願であるが、そもそも学校給食費が無償になれば、当然子育て世帯が助かるということは、「自明の理」であると思う。しかしながら全国900万人を

高橋末	西山	大野	大原	岡部	森	高橋誠	熊代	田村	瀧野	光田	玉井	阪本
—	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

■採決結果 不採択

超える児童生徒の給食費を無償にするという事は、多大な財源、数千億円の財源が必要であると思う。このことについては国の権限と責任において議論をされるべきと考える。このことから、本町議会が無責任にこの請願を採択することは適切でないと思う。私は不採択すべきだと思う。

※議事進行を行う議長は賛否の表明はしません。  
賛否同数の場合のみ議長裁決として賛否を表明します。  
その場合は「裁」と記載します。

11月臨時議会

議案第76号

面河溪自然環境保全活用交流拠点施設の設置  
および管理に関する条例の制定について

■面河アウトドアセンター

**大原** この施設の管理運営方針は。

**答** ふるさと創生課長

町有観光施設経営管理検討委員会にて指定管理者制度での管理運営の答申がなされた。これを踏まえ、公募により選定したいと考えている。

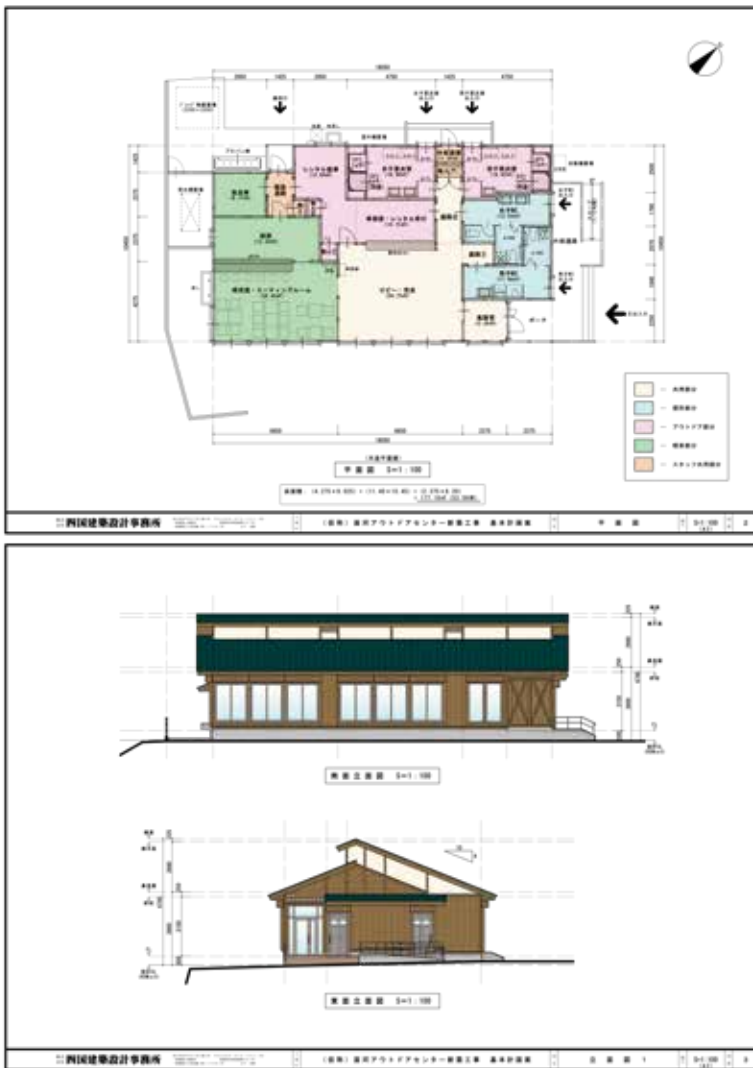
**大原** 収益事業の経営実績がない新施設が指定管理者によって運営されるのは初。可能性として資金不足による早期撤退も考えられるが、面河

観光の新拠点となる本施設のトイレや観光情報提供などの公益事業は、いかなる場合も継続されなければならぬ。事業継続性を担保する方策は。

**答** ふるさと創生課長

町内2つの道の駅に倣い、公益事業にかかる費用を指定管理料として措置する。経営実績がないため、指定管理者の運営状況を逐一モニタし、

公益事業の指定管理料に不足が生じる場合は適切に対処する。



面河アウトドアセンター



議案第77号

令和4年度久万高原町一般会計補正予算  
(第5号)

■コロナ関連支援予算

**岡部** コロナ支援事業の実施計画段階での基礎数値の把握・制度設計、実施中および実施後の事業効果の検証状況をお伺いする。

**答** 総務課長

地域住民、事業者それぞれの生活、経営の状況を勘案して事業制度設計を行っている。

今回の5000円分の商品券を配布する提案も、主には燃料(灯油)・電気料金について、冬場にはかなり嵩んでくることもあり、価格高騰した分の支援として、制度設計をさせていただいた。  
灯油については、3ヶ月で8缶程度の消費を仮定。電気料金については月10000円の値上がりとして3ヶ月で30000円。計50000円という数字を導き出した。

**岡部** まちづくり営業課は、全業種を見ての支援計画検討となるが、国・県の直接対応分も含め非常に範囲が広い中で、どのようにして状況

把握をし、実施計画を立てているのか。

**答** まちづくり営業課長

まず、事業継続給付金という形で、全業種のコロナ支援をしている。国の持続化給付金制度に掛からない事業者を支援する目的で事業を実施。

**岡部** 現在、DX等を推進していく中で、各部署が調査等によるデータを一元管理するシステム構築が、住民の希望する支援や業務の効率化、スピード感のある対応に繋がると考えるが、何らかのシステムで対応しているのか。

**答** まちづくり営業課長

他市町では、商品券にも電子化を導入しているところもあるが、本町では高額となる費用面、高齢者の方が多い点を考え導入できていない。

**岡部** 災害時や、いまだ収束の見えないコロナ禍だからこそ、DXを生かすべきではないか。

**答** まちづくり営業課長

今年、10月末で終わった商品券に参加していただいた100以上の事業者の方にアンケートを実施したが、紙とネット上での回答もできる新たな試みも実施した。勉強しながらDXにも積極的に取り組んでみたい。

※DX(デジタルトランスフォーメーション)とはDigital Transformationの略で、直訳すると「デジタル変更」という意味。

ビジネス領域に限った言葉ではなく、デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をより良いものへと変更することを指す。





# 一般質問



## — 6人の議員が町政を質す —

12月定例会では6人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。ここでは質問と答弁を要約した内容を質問順にお知らせします。要約は質問者自身が議事録を基に行い、会報特別委員会が校正したものです。

全文の議事録は町議会ホームページ (<https://www.kumakogen.jp/site/gikai/>) の「議会 議事録」からご覧いただけます。

久万高原町議会での一般質問の質問順序は、原則として質問通告書の提出順になります。

### 一般質問とは

一般質問とは、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や見解を町長などに求め、適切な町政運営を進めているかを議員がチェックするものです。

効率的な議会運営を目的に、質問する議員があらかじめ議長に質問要旨を知らせる「通告制」を採用し、議員はその内容に沿って質問します。

一般質問は、住民からも大きな関心と期待を持たれる重要な議員活動の場であることから、本会議の初日に行われ、年4回開かれる定例議会（3月・6月・9月・12月）でのみ行われます。

規則により、議員は町に対し一方的に質問することができませんが、逆に町が議員に質問することは認められていません。

**大原 貴明 議員** ○ 木質バイオマス発電を導入し、地域脱炭素に取り組むか

**高橋 誠 議員** ○ 婚活支援の取り組みについて

**光田 優 議員** ○ ニホンジカによる森林被害の対策について

**岡部 史夫 議員** ○ 久万高原清流米農家を守り育てる施策を  
○ 国調の境界錯誤問題に係る作業進捗状況

**熊代 祐己 議員** ○ 今後の地域公共交通について

**大野 良子 議員** ○ 再生可能エネルギーに係る環境問題の取り組みについて

※通告順（発言順）に掲載しています。

# 木質バイオマス発電を導入し、地域脱炭素に取り組むか



大原貴明議員

**【答弁】 将来にわたり持続可能で、他の再エネ発電設備より優位と判断できれば積極的に取り組む**

**問** 本町の脱炭素地域としての将来像をどのように描いているか。特に再生可能エネルギーの活用についての考えを伺う。

**答** 河野町長

環境省の補助事業を活用し、温室効果ガスの排出量や、森林による吸収量を調査している。また、公共施設への太陽光発電設備などの導入調査も実施中。今後は再生エネ設備の導入計画を策定し、脱炭素先行地域への応募を目指したい。

**問** 脱炭素先行地域の選定に向けた計画提案のスケジュールは。

**答** 環境整備課長

発送配電事業者、金融機関などの共同提案についても協議しながら、令和5年度に計画策定。令和6年度に応募予定。

**問** 町全体のCO<sub>2</sub>排出量と、町の森林によるCO<sub>2</sub>吸収量を差し引きすれば、町の排出量は見かけ上はマイナスだ。脱炭素先行地域計画の実行によって、実質排出量の削減を目指すという理解でよいか。その具体的な排出削減目標は。

**答** 環境整備課長

具体的な目標は検討中だが、脱炭素先行地域で実現する削減レベルは、民生部門の電力消費に伴うCO<sub>2</sub>排出量を実質ゼロにする必要がある。それに見合った目標としたい。

**問** 地域特性に応じた脱炭素に向かう取り組みとして、全国に誇る林業の町である本町は木質バイオマス資源を最大限に活用することが最適だ。町総合計画にも木質バイオマスエネルギーの活用をうたっている。木質バイオマス発電について何らかの形で取り組む考えはあるか。

指摘の小型発電設備を鳥根県で視察して、有効性を確認してきた。分散型電源の仕組み作りも必要不可欠なアイデアと認識している。木質バイオマスを活用したソージェネレーションの取り組みが将来にわたり持

**答** 環境整備課長

太陽光発電設備等の公共施設への導入調査の結果に基づき、公共施設の屋根や屋上への導入を計画的に実施したい。木質バイオマスについては、まずは熱利用を検討したい。

**問** 小規模な消費地単位での木質バイオマス発電の導入を推進し、地域脱炭素の実現を目指すことを提案するが取り組んでいただけるか。

**答** 河野町長

指摘の小型発電設備を鳥根県で視察して、有効性を確認してきた。分散型電源の仕組み作りも必要不可欠なアイデアと認識している。木質バイオマスを活用したソージェネレーションの取り組みが将来にわたり持



脱炭素先行地域のイメージ（環境省HPより）



本町には豊富な森林資源がある

持続可能で、かつ他の再エネ発電設備と比べて優位であるという判断できれば、積極的に取り組むたい。

# 婚活支援の取り組みについて



高橋 誠議員

## 【答弁】魅力的な施策の実施が必要

今後においても、魅力的な施策の実施が必要であると

町内の婚活事業の取り組み状況と少子化の主たる原因である未婚化、晩婚化にどのように対応するのか伺う。

河野町長

過疎高齢化が進む本町では、子育て世代の確保や、担い手の育成は最重要課題である。

その一つとして、松山圏域3市3町が連携をして、出会いの場の創出策として、出会い、イベント等による婚活支援事業を実施し、单身男女がよきパートナーと巡り合う機会の提供を行っている。

7年間で27組のカップルが誕生し、そのうち2組の本町在住者が婚姻に至っている。その他、愛結び事業や結婚新生活支援事業も実施している。

また、積極的な事業説明や、チラシの配布により、参加を周知する。

考えている。

公的な愛媛婚活支援センターが実施している「愛結び事業」の本町での状況は。

保健福祉課長

本年度も、7月から12月までの間で7回開催。既に6回終了し、24名の枠で20名が利用している。

カップルとなる成果には至っていないが、まず行動に移すことが大切だと考えている。

「愛結び事業」の会員登録に必要な1万円を補助することはできないか。

婚活支援センターのボランティア推進員の確保については。

保健福祉課長

ボランティア推進員は、各イベント・カップル引き合わせ・交際などの支援を行うが、研修の必要があり、本町には、推進員はいない。推進体制は必要と考えており、今後努力していきたい。

「愛結び事業」の会員登録に必要な1万円を補助することはできないか。

保健福祉課長

結婚祝い金と新生児誕生祝い金を増額し若者を支援することはできないか。また、結婚新生活支援事業の期間延長できる項目についての取り組みは。

祝い金は、婚姻時に2万円、出産時に3万円を支出している。

国では、出産・子育てできる環境整備に対応するため、応援交付金事業の創設が検討されている。

妊娠時に5万円相当、出産届時に5万円相当の経済的支援の動きがある。その事業を踏まえ検討したい。

結婚新生活支援事業の延長については、3分の2は国費の補助事業で、延長分は単独費となるので、検討を進めていきたい。

地域ごとに婚活を推進できる体制づくりと愛

保健福祉課長

1対1のお見合い  
**愛結び**  
in 久万高原町  
登録会 & 開設

「愛結び」は会員制のお見合いシステム。結婚を希望する方の出会いを公的機関「えひめ結婚支援センター」がサポートします。

会場 久万高原町 まちなか交流館 上野穴部 久万高原町 久万134	来所登録会 <b>7/9 (土)</b> ※予約制	利用時間 <b>12:00~16:00</b>
---	---------------------------------	----------------------------

詳細は裏面へ

愛結び開設スケジュール

- ◆ 7/18(月祝) ◆ 8/11(木祝)
- ◆ 9/23(金祝) ◆ 10/10(月祝)
- ◆ 11/23(水祝) ◆ 12/10(土)

開設時間 **12:00~16:00**

会員ログイン・マイページから予約のうえお越しください

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底しておこないます

イベント案内チラシ



## ニホンジカ対策への町の考えは



光田 優議員

**【答弁】 被害の拡大を防止するために、農業戦略課・林業戦略課等が連携し対策をしっかりと講じていきたい**



他町の鹿対策

**問** 県内で増加し続けているニホンジカの対策について、久万高原町ではどのように考えているか。

**答** 河野町長  
被害防止対策について、農地では、補助事業を活用し、防護柵の設置を進める。また、山林では、愛媛県や森林組合、林業事業者等と情報共有を図り、農林業者の皆様にご協力いただきながら、狩猟免許取得を推進し、捕獲活動を進めたいと思う。

そして、面河山岳博物館では、ニホンジカの生態や生殖地域に関する研究もされているので、連携して被害防止に努めたいと思う。

**問** 生息密度の高い所では、ヒノキの被害が目立つが、全ての植栽木が被害にあっている。森林の管理の取り組みについてお聞かす。

**答** 林業戦略課長  
来年度の当初予算で、侵入防止柵や食害防止チューブの設置に対する補助事業を検討している。



鹿による立木食被害

**問** 捕獲による個体数の適正管理については、その他に検討、準備する事はないか。

**答** 農業戦略課長  
猟友会と相談をしながらにはなるが、猟期の11月から3月の期間も、有害捕獲として対応するなどの対策も

検討したいと思う。

**問** 危機感を持って鳥獣被害防止計画を実施されているが、健全な将来の林業を考えた時における鳥獣被害防止についてのお考えをお聞かす。

**答** 河野町長  
被害の拡大を抑えるためにも、今後、国・県はもちろんのこと、部内においても、農業戦略課・林業戦略課が連携し、対策をしっかりと講じていきたいと考えている。



カメラに近づく鹿



夜間出現した鹿



餌をあさる鹿

# ①久万高原清流米農家を守り育てる施策は ②国調境界錯誤に係る作業進捗状況は



岡部史夫議員

## 清流米農家・産地の維持

**問** 清流米は在庫切れも早く人気があるが値段が上がらない。道の駅等の販売拡大や米作り農家を意識した新しい施策は。

**答** 農業戦略課長

令和3年度から稲作受託支援事業として田植え機等の購入支援を実施している。

**問** 富山県の砺波町では、若い方数名で農業法人を立ち上げ、170戸の水田を農家から受託し農地保全に努めている。本町の若手農家が検討した場合のスタートアップ支援策を検討しているか。なければ代替案は。

**答** 農業戦略課長

町内の稲作受託者協議会の会員も受託限界での耕作状況であり、全ての農地を保全することは難しい。支援策は検討できていない。

**問** やる気が感じられなく失望した。現在、町には農業行政の指針となる「食料・農業・農村基本法」に基づく食料・農業・農村基本計画が存在せず、米作りの明

確な方針も示されていないが、策定を検討すべきでは。

**答** 農業戦略課長

食料・農業・農村基本計画は策定していない。「人・農地プラン」を推進しているが、計画を立案できない地域が多い。町の農業の指針は、愛媛農林水産業振興プランや農業改良普及指導計画に基づき対応している。

**問** 将来の農業を考えた時、町独自の食料や農業・農村計画が無い状況で、この町で農業をしたい方が増えるのか。

**答** 佐藤副町長

指摘された計画については不勉強であり、様々な計画との関連性を踏まえて検討したい。

**問** 町づくり営業課は久万高原の米を高く売る営業をしているのか。

**答** 町づくり営業課長

TV、ラジオにてブランド向上の宣伝をしている。今後、清流米を含め、町の農産物の価格向上に向けて農業戦略課とも連携して農協や市場に働きかけていく。

**問** 今の安い値段が続けば、この町で米作りを続ける方がいなくなる。今後、農業行政の総合的な指針を作成、県・JA等経済界とタッグを組み、認定団体への道筋をつけ海外富裕層に販売するなど、久万高原の米を宣伝・推奨する特命係を設置し、町の伴走型支援策を農家に示すべきだ。

**答** 河野町長

先般、農水省へも「米作家は生産意欲をなくしている。国も対策を」と陳情してきた。また、松山市農協さんにも「久万高原清流米に特段の値段を」とお願いし続けている。海外富裕層への販売にも対応できる米であり、自主流通米の高値販売も含め対応していく。

## 国調境界錯誤に係る作業状況

**問** 国土調査境界錯誤に係る作業進捗状況は。

**答** 河野町長

錯誤が疑われる山林の範囲特定、所有者確認も概ね完了。今後は全員の方から同

意を得て対象区域の再測量を実施、最終的には地籍図の修正を行う予定。伐採によって被害を被っている地元山林所有者に対して一日も早い解決を図る。

**問** 9月議会で、補償問題の早期解決に取り組むと答弁された。被害を受けた方への補償作業を優先して進めると理解してよいか。

**答** 河野町長

早い段階で問題解決に努めていきたい。補償については、年内解決を目指している。

**問** 森林伐採に関する森林法が改正される予定だが、町の「伐採届」が見直された場合の素材生産への影響を伺う。尚、今回のような事案が二度と発生しないよう現地境界の重要性も示していくのか。

**答** 林業戦略課長

伐採届の見直しが行われた場合、混乱が起きないように、また、素材生産に影響がないように森林組合・事業体・山林所有者に十分説明していく。

## 今後の地域公共交通について



熊代祐己議員

**【答弁】** 全体を網羅した公共交通計画を策定する中で、利用者目線に立った取り組みを具現化したい

**問** 公共交通の利用状況は。

**答** 河野町長

交通利用券申請者は増加しており、バス利用者は減少、タクシー利用者は増加している。



デマンドタクシー

**問** デマンドタクシーの実情把握と利用状況は。

**答** 河野町長

平均利用者は、ほぼ横ばいで、今後の在り方や、他の地区での運行の可能性について、有識者の意見も踏まえ検討を行っている。

**問** 町は、上高存続に力を入れていますが、地元高校生が満足に部活動に行けない状況を把握しているのか。地元高校を存続させるためにも、休日の部活便を早期に検討すべきではないか。

**答** 小野教育長

教育委員会としても、上高振興協議会と連携して補助など取り組みを進めてきたが、冬場の安全や、通学、部活動参加の交通課題解決には、問題を抱えている。久万中校区は部活便を運行しており、上高生の乗車を



部活便

許可している。美川中校区は、終着駅が美川中学校となっており、不便が生じている。面河地域は久万行き便が1日2便しかなく御不便をかけており、今後は、美川中学校部活便の活用や、その他の方法を検討したい。



福祉車両

**問** 現在の公共交通網では、路線バスが定期的

に走り、自力で乗れる人だけに乗せて走っているが、我が町は、高齢者率も高く、障がい者の方もおられ、バス停まで遠い、もしくは介助が無いと乗ることが困難です。デマンドタクシーも

例外では無いようで、介助が必要な方が多いと聞きま

**答** 河野町長

交通利用券の実績では、高齢者、障がい者ともタクシーの利用が最も多くなっており、かなりの部分で福祉乗合タクシー的な利用がなされていると考えるが、対象者によっては事業者や運転者に十分な知識や経験が必要で、ヘルパーなどの資格も必要である。これらを含め、公共交通の在り方は、町民の関心も高く、重要な課題であり、更に改善が必要で、全体を網羅した公共交通の計画を策定する中で、議員の提言も十分に反映し検討を重ね、利用者目線に立った取り組みを具現化してまいりたい。



## 再生可能エネルギーに係る 環境問題の取り組みについて



大野良子議員

**【答弁】** ①ガイドラインに基づいて指導監督を行っていく  
②脱炭素に向けた専門委員会を設置しており、  
町民の意見を取り入れて進める

**問** 地球温暖化の影響は生命の脅威を引き起こしており、化石燃料から再生可能エネルギーへの切り替えは急務である。

しかし、久万高原町で大規模に設置が進んでいる太陽光発電の工事は、森林が広範囲に伐採され、傾斜地にソーラーパネルが設置されている。台風や豪雨の時などは、昨年の熱海市の土砂災害が思い出される。このような事業は久万高原町の活性化に繋がるのか町の見解を問う。また、脱炭素や環境問題の取り組みは自治体と町民の協力が必要だと思いが、どのように進めていけるのか。

**答** 河野町長

町としては令和3年から国の補助事業を活用して、温室効果ガスの排出量や森林による二酸化炭素の吸収量を調査するとともに、地域のポテンシャルを生かした再生可能エネルギー発電設備の導入について検討している。ご指摘があった民間

事業者による太陽光発電は、町へ電気が供給されるといような町の活性化に直接繋がるものではない。

**問** 前述の場所は赤蔵ヶ池近くの標高1000メートル近い山頂付近で、

4、5ヘクタールの森林が伐採されソーラーパネルの設置が進んでいた。先の台風でこのあたりは24時間500ミリの雨が降ったと聞く。現場には水路らしきものは見当たらず、現場付近から流れる谷筋の暗渠は多くの箇所で詰まっていた。太陽光発電は大切だが自然



赤蔵ヶ池近くの太陽光発電施設

破壊や災害に繋がるものではないか。町としてどう対処されるか。

**答** 環境整備課長

太陽光発電について全国的に問題が起きており、国としても考慮すべき事項を提言している。また、林地開発許可を1ヘクタールから0・5ヘクタールへと規制を強化している。

**問** 規制が国、県で強化されているが、久万高原町としてはどのように強化

するのか。久万高原町では太陽光発電の適切な設置と管理のため、ガイドラインが作られていると聞く。現場ではガイドラインに抵触した部分が見受けられるが、どのように対応するのか。

**答** 環境整備課長

持続可能な自然エネルギーの導入や安心安全な地域の構築のためガイドラインを定めている。抵触している所は業者に指導したい。

**問** 国や県の意向に合わせざるを得ない中、災害

を未然に防ぎ、地域社会を守るため、ガイドラインに沿っているかなど定期的な見回り、指導をしていただきたい。

**答** 環境整備課長

林業戦略課も県と情報を共有し、不当な林地開発防止に努めている。今後も継続して指導、監督を行う。

**問** 久万高原町は再生可能エネルギーの宝庫だと思

う。自治体がイニシアティブを発揮し、開発、運営し、地域に雇用を生み、利益が地域に還元されれば、地域おこしにとっても、再生可能エネルギーは豊富な財産になると思う。このような取り組みをどう思われるか。

**答** 環境整備課長

地域の特性を生かした再生可能エネルギーの導入については町が主体となり、先行地域を目指している。さらに脱炭素社会に向けて取り組み、地域おこしに繋がればと考えている。

## 閉会中の主な議会活動

●9月議会後から12月議会前までの  
主な活動です。

9月	議会会報特別委員会
22日	
4月	決算特別委員会
10月	
4日	決算特別委員会
6日	議会会報特別委員会
7日	決算特別委員会
11日	議会会報特別委員会
13日	決算特別委員会
19日	議会会報特別委員会
20日	決算特別委員会
25日	議員研修会
4日	議会会報特別委員会
11月	議員タブレット研修
8日	議員研修会
9日	議会会報特別委員会
11日	議会会報特別委員会
11日	議会運営委員会
14日	臨時議会
22日	予算に関する特別委員会
24日	予算に関する特別委員会
25日	合同専門委員会
29日	全員協議会
30日	議員研修会
	臨時全員協議会
	全委員協議会(愛南町・議長出席)
	県町村議会議長会
	全委員協議会(愛南町・議長出席)

## まちの未来が見える・聞ける

### 議会を傍聴しませんか！

- ※一般質問・本会議 (町民館 2F 議場)
- ※常任委員会 (町民館 議員控室)

・本会議も常任委員会も傍聴できます。

12月定例会の傍聴者は7人でした。  
(町職員・記者を除く)

## 《3月定例議会の予定》

7日	開会 一般質問
8日	議案審議(質疑)
9日	総務文教厚生 常任委員会(審査)
10日	産業建設 常任委員会(審査)
17日	本会議 閉会

## おしらせ

「ご意見をお待ちしています。」

「議会」・「議会会報特別委員会」にご意見をお寄せください。  
また、「久万高原町議会だより」に掲載する季節行事や風景写真なども募集しています。  
左記アドレスへ送付してください。

## 編集後記

卯の年を迎え、春の息吹を感じる季節となりましたが、新型コロナウイルス感染症は3年を過ぎ第8波に入り、まだまだ終息には時間がかかるようです。また、昨年末の大雪の被害にお見舞い申し上げます。

ロシアによるウクライナへの侵略も1年を過ぎ、この議会だよりが届く頃にも解決できていないのではと憂慮しております。

こうした中、電気料金や燃料、日用品等の大幅な値上げなどが家計を圧迫しております。議会も何ができるのか検討していきたいと思えます。

さて、議会だよりも今の6人の委員で毎回試行錯誤の中、2年間発行してまいりましたが、町民の皆様には十分伝わる編集であったのか反省しています。町民目線での記事、編集を心がけて、読みやすい紙面にすべきだと思いますが、編集委員だけでなく全議員の課題でもありません。

(西山清一)

皆様の  
ご意見・お声を  
お聞かせください!!



メール送信先：町議会事務局  
gikai@kumakogen.jp

ご利用ください！

久万高原町ホームページ「議会事務局」へつながります。

